

「北陸未来共創フォーラム」を核とした北陸地域におけるイノベーション・エコシステムのスケールアップ



北陸未来共創フォーラム

R3.11
創設

県域を越えた産学官金連携プラットフォームとして、北陸の経済・産業の活性化、人材育成・地域定着を組織的に推進！

経営改革のビジョン

第3期中期目標期間に北陸地域の産学官金が連携して設置した「北陸未来共創フォーラム」の下、経済界等とともに地域課題克服と地域の成長力の向上に向けて、新たな知と人材の創出による地域の経済的・社会的価値の創造に取り組む。価値創造により生まれた、新たな資本・資源を還流させ、大学の自立的な経営基盤の強化につなげる。

金 金融機関

産 産業界

取組1

北陸未来共創フォーラムの規模拡大と交流機会の増加

運営統括会議 会長 北陸経済連合会会長
副会長 国立4大学長等
幹事 分科会代表企業等

【課題】 他業種・他分野のプレーヤーが集う対面交流の高いニーズ
物理的な距離・時間の壁
フォーラムの認知度の向上

【今後4年間で実施する取組】

- ◆オンラインコミュニケーション環境の構築
 - ↳ デジタル空間内での交流機会の拡張
 - ↳ 会員間マッチングのシステム化
- ◆成果共有イベント及び会員向けイベント運営の充実

長期アウトカム

北陸地域の地方創生の牽引役となるイノベーション・エコシステムへ！

取組2

北陸地域の産業振興・新産業創出に向けたシーズの重層化と社会実装の加速

マテリアル分科会	先端エレクトロニクス分科会	観光分科会
ヘルスケア分科会	次世代農林水産分科会	グリーンイノベーション分科会

【課題】 第3次産業等をターゲットした分科会設置のニーズ
シーズ・ニーズ等の掘り起こし・マッチングの推進
開始した共同研究・社会実装プロジェクトの継続支援

【今後4年間で実施する取組】

- ◆地域におけるデジタル・グリーン関連産業の共同研究・社会実装プロジェクト実施
- ◆既存分科会へ重点投資を行い共同研究・社会実装を加速

長期アウトカム

分科会間のシナジー効果等により、地域経済を牽引する産業クラスター構築！

取組3

北陸地域の中核となる人材層の強化と地域定着の推進

地元人材育成分科会	人材流入・地域定着分科会
-----------	--------------

【課題】 数理・データサイエンス・A教育の必要性
理工系リカレントプログラムの高いニーズ
高い付加価値を生み出す博士人材のニーズ
人的リソースやナレッジ・スキルの分散

【今後4年間で実施する取組】

- ◆大学間連携による数理・データサイエンス・A教育の実施
- ◆大学院生への共同研究指導プログラムの展開
- ◆オンラインも活用した理工学系分野を中心とする高度実践型プログラムの共有（リカレント教育の観点を含む）
- ◆定住・就労促進と連動した体感型の地域理解プログラムの開発・実施

長期アウトカム

高度専門人材が北陸地域に集積し、地域の価値創造・社会変革を牽引！

官 自治体

学 国立4大学等

北陸地域の経済的・社会的価値の創造を牽引し、知の好循環の促進と大学への投資の拡大

R3年度採択事業での実績と課題

実績

イノベーション・エコシステムの枠組みを構築

北陸未来共創フォーラムの設置
産学官金が参画する運営体制の構築

金融機関

産業界

運営統括会議

会長 北陸経済連合会会長
副会長 国立4大学長等
幹事 分科会代表企業等

自治体

大学

課題

共同研究等のActivityの活発性と持続性をいかに確保するか

参加企業等数の拡大
会員間の交流機会の拡大
フォーラムの認知度の向上

課題

フォーラムはまだ生まれたばかりの状態、国立4大学が責任を持ち、フォーラムの諸活動を牽引する必要がある

自立的・持続的な体制を構築し、イノベーション・エコシステムを機能させるためには、今後4年間の継続的な支援が必要不可欠！

今後4年間で実施する取組

新規実施

第3次産業等をターゲットとした分科会の設置

「未来ビジョンⅠ 経済・産業活性化」に新たな分科会（観光分野、グリーンイノベーション分野）を設置（取組②へ）

発展実施

定期的な全会員向けシンポジウム・イベントの実施

フォーラムシンポジウム、研究会・交流会等の開催

発展実施

フォーラムの周知・広報の強化
リアル・ヴァーチャルでの広報実施

新規実施

デジタル空間内での交流機会の拡張
オンラインコミュニケーションシステムを新たに構築

新規実施

会員間マッチングのシステム化
マッチングコーディネーター配置

成果とインパクト

第1次産業から第3次産業まで幅広い分野・業界から多くの企業・機関が参加

KPI① 参加企業数（前回からの継続指標）
R3実績:114社 >>> R4:500社 >>> R7:2,000社

多様な対話の場の創出による、分野・業界・県域を超えた新たな連携関係の拡大

KPI② 会員間マッチング件数
R4:15件 >>> R7:100件

新たな指標

産学官金ネットワークの拡大

フォーラムをハブとしたオープンイノベーションの推進

長期アウトカム

北陸地域の地方創生の牽引役となるイノベーション・エコシステムへ！

取組 2 北陸地域の産業振興・新産業創出に向けたシーズの重層化と社会実装の加速

R3年度採択事業での実績と課題

実績

北陸地域の強みを持つ分野と今後成長が見込まれる分野に産業創出を図る分科会等を設置

分科会・WG等において、研究会・ミーティングを行い、共同研究・社会実装プロジェクトを開始

マテリアル分科会

先端エレクトロニクス分科会

ヘルスケア分科会

次世代農林水産分科会

課題

大学の持つ研究シーズ、企業のニーズ等の掘り起こし・マッチングの推進

分科会・WGの構成企業等の拡大
産学官金の「距離感」を縮める

課題

開始した共同研究・社会実装プロジェクトの継続支援

研究開発の推進、研究会・セミナーの継続的開催

今後4年間で実施する取組

新規実施

北陸地域の新たな基幹産業となる観光分野に新たな分科会を設置

コーディネーター等を配置し、共同研究・社会実装に向けたスタートダッシュ支援を実施（詳細は次ページ）

新規実施

グローバル市場の拡大が見込めるグリーンイノベーション分野に新たな分科会を設置

コーディネーター等を配置し、共同研究・社会実装に向けたスタートダッシュ支援を実施（詳細は次ページ）

発展実施

既設分科会への重点投資による共同研究・社会実装の加速

コーディネーター等を配置し、シーズ・ニーズのマッチングを実施

新規実施

分科会間の連携事業等の実施
新商品・新サービスの開発

成果とインパクト

共同研究・社会実装の推進による大学への投資の拡大

KPI③ 共創事業件数（前回からの継続指標）
R4:12件 >>> R7:50件

KPI④ 共同研究等受入金額（前回からの継続指標）
R4:4億円 >>> R7:10億円

KPI⑤ 特許権等収入
R4:3千万円 >>> R7:1億円

新たな指標

地域イノベーションの創出による大学の研究力強化と地域経済への貢献

KPI⑥ 関連分野の論文数（例:マテリアル分野）
R4:350報 >>> R7:450報

KPI⑦ 製造品出荷額（例:マテリアル関連）
R4-R7: 令和元年度費2.0%の伸び率

KPI⑦-5 観光客入込客数
R7: コロナ禍前（令和元年度）の水準を回復

新たな指標

新たな指標

大学の研究力強化と
地域経済への貢献を両立

長期アウトカム

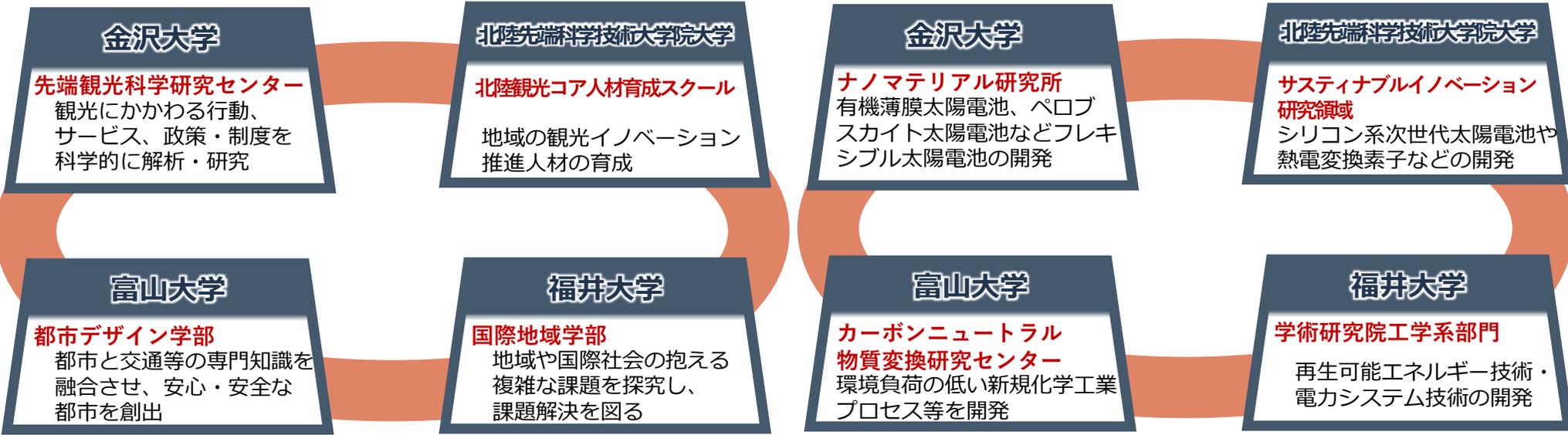
分科会間のシナジー効果等により、
地域経済を牽引する産業クラスター構築

取組 2 北陸地域の産業振興・新産業創出に向けたシーズの重層化と社会実装の加速

参加企業等のニーズ及び北陸地域の産業課題等を踏まえ、北陸地域の新たな基幹産業となる「観光分野」と、地域課題と合わせ、大幅なグローバル市場の拡大が見込める「グリーンイノベーション分野」に新たな分科会を設置

観光分科会

グリーンイノベーション分科会



地域産業の課題

2024年春に予定されている北陸新幹線敦賀駅延伸の効果の波及・拡大に向け、AI、IoT等の最先端技術を駆使した新たな観光価値の発掘と、持続可能な観光の両立
 関連企業・団体：各自治体、北陸経済連合会、北陸観光協会、各県商工会議所等

創出する新たな産業

伝統文化 × xR × 体験 = 観光資源に新たな付加価値
 観光 × 自動運転 × インフラ = 観光Maasの推進
 アート × ICT × コミュニティ = イベントから定住へ

新たな「観光価値」を創出！

地域産業の課題

北陸3県における発電量の6割が火力発電に依存しており、CO2フリー電源の必要性
 「スマートリージョン北陸」実現に向けたIoTの活用・普及
 関連企業：北陸電力、アクトリー、三谷産業、日本海ガス絆ホールディングス等

創出する新たな産業

ゼロ・エネルギー・デバイス（充電不要な超低消費電力デバイス）の開発からそれを用いたサービスソリューションを提供する企業までのサプライチェーン構築
 カーボンリサイクル（メタノール製造）等によるCO2フリー電源実現

北陸からGXを牽引！

取組3 地域の社会変革を力強く牽引する高度専門人材の育成と地域定着の推進

R3年度採択事業での実績と課題

実績

地域課題である地元人材の育成と、首都圏・海外等からの人材流入・地域定着の推進のため分科会を設置

金沢大学「共創型・人材展開プログラム」の横展開により、実践型リカレントプログラム「富山“Re-Design”ラボ」の実施

「北陸・信州かがやき。つなぐコンソーシアム」の設置により、外国人留学生のキャリア形成と地域定着のサポート体制を整備

地元人材
育成分科会

人材流入・
地域定着
分科会

課題

数理・データサイエンス・AI教育の必要性

高い付加価値を生み出す博士人材のニーズ

理工系リカレントプログラムの高いニーズ

人的リソースやナレッジ・スキルの分散

今後4年間で実施する取組

新規実施

大学間連携による数理・データサイエンス・AI教育の実施

デジタル教材の作成・共有プログラムの高度化
リカレントプログラムへの展開

新規実施

大学院生への共同研究指導プログラムの展開

国立4大学に加え、フォーラム参加企業の研究者が、大学院生を共同指導
全会員向けセミナー等で大学院生による研究発表等を実施し、企業と大学院生のマッチングを推進

会員企業と連携したPBL型インターンシップ・ジョブ型インターンシッププログラムの開発・展開

新規実施

理工系分野を中心とする高度実践型リカレントプログラムの開発・展開

発展実施

定住・就労促進と連動した体感型地域理解プログラムの開発・実施

成果とインパクト

企業等と連携した教育事業の実施による高度専門人材の輩出

KPI⑧ 共創教育事業参加企業数 (前回からの継続指標)
R4:1,500社 >>> R7:3,000社

KPI⑨ 共創教育事業実施件数 (前回からの継続指標)
R4:40件 >>> R7:100件

KPI⑩ 数理・データ入・API等受講者
R4:3,000人 >>> R7:5,000人

新たな指標

KPI⑪ 北陸域内就職者率
R4:45.0% >>> R7:50.0%

新たな指標

実践型リカレントプログラム等の実施による、地域人材の能力開発と地域定着の推進

KPI⑫ リカレント教育プログラムのべ受講者数
R4:6,000人 >>> R7:10,000人

新たな指標

大学の教育・研究力の強化

地域人材の高度化

長期アウトカム

高度専門人材が北陸地域に集積し、地域の価値創造・社会変革を牽引！